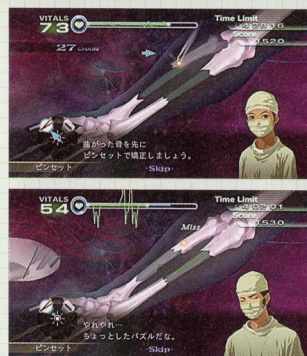
骨折処置

使用器具　評価ポイント　—

回収した骨片を配置し、骨片を定着させる術式。刺さっている骨片は異物除去の術式で回収すること。回収した骨片は追加トレイに置かれるので、ピンセットでつかみ、緑のライン上に配置していこう。このとき、骨片の裂け目を手がかりにし、向きを調整しながら置くとよい。ちなみに、追加トレイには、2つの骨片が置かれる。配置場所に悩んだら、もう1つの骨片を選択するといい。すべての骨片を配置したら、ヒールゼリーを塗って定着させれば処置完了。

曲がった骨は、骨片を配置するまえに矯正。骨をつかみ、緑のラインの位置に合わせよう。

骨片の配置は少しでもずれると「Miss」になる。その骨片がトレイに戻され、やり直しになる。

［手順］

❶ ピンセット　骨片を配置
❷ ヒールゼリー　骨片を定着させる

腫　瘍

使用器具   　評価ポイント　○

ボーウェル法と呼ばれる腫瘍摘出の術式。まずは臓器内に隠れている腫瘍の位置をスキャナ（エコー）で特定するのだが、エコーを選択中にⒶボタンを押して腫瘍の影を表示させると評価が「Good」以下になってしまう。影が見えれば次の手順を行ないやすいが、「Cool」評価を狙うならエコーで臓器内を透かすだけに留め、腫瘍の位置を覚えよう。

腫瘍の位置がわかれば、メスで患部の中央を切開して腫瘍を露出させる。その後、組織液をドレーンで吸引し、ガイドラインに沿って腫瘍を切り離す。あとはピンセットで腫瘍を摘出すれば、それまでの評価が表示される。「吸引した組織液の復活回数」、「切り取った腫瘍を下に落とした回数」も評価に影響するので慎重に行ないたい。なお、腫瘍を摘出すると必ず切除痕が残る。切除痕を処置するときは、追加トレイにある人工膜を切除痕に乗せ、ヒールゼリーで定着させれば処置完了。ただし、腫瘍を回収トレイに乗せたときに小腫瘍や膿が発生する場合がある。小腫瘍の処置は後回しで問題ないが、膿があると人工膜が乗せられないので、事前に処置すること。

スキャナを選択したら臓器の上をスライドさせて、腫瘍を探そう。位置を覚えたらメスで切開しよう。

腫瘍の処置は多くの患者で行なう。術式の手順も多いので、しっかりと覚えておこう。

ガイドラインをなぞりきるまえに組織液が復活するとやり直し。評価が下がり、CHAINも切れる。

［手順］

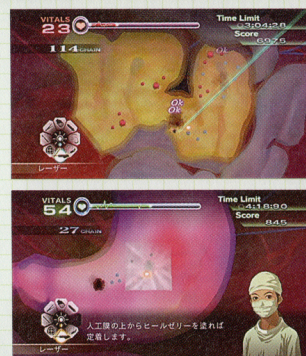
❶ スキャナ　腫瘍を特定する
❷ メス　腫瘍を切開する
❸ ドレーン　組織液を吸引
❹ メス　腫瘍を切り離す
❺ ピンセット　切り離した腫瘍をトレイへ運ぶ
❻ ピンセット　人工膜を乗せる
❼ ヒールゼリー　人工膜を定着させる

評価ポイントに関わる要素

- 腫瘍の影を表示させずに患部を切開する
- 組織液が再発するまえにメスで腫瘍を切り取る
- 切り取った腫瘍を落とさずにトレイへ運ぶ

小腫瘍

使用器具　評価ポイント　—

イボのような小さな腫瘍を摘出する術式。小腫瘍は腫瘍とは違い、レーザーで患部を焼却して治療する。その後、焼却時に発生したレーザー痕にヒールゼリーを塗れば処置完了となる。ただし、レーザー痕から血溜まりが発生した場合は、治療まえに血溜を吸引しておくこと。また、腫瘍除去時に小腫瘍が発生した場合は、腫瘍の切除痕を治療するまえに小腫瘍を焼却し、人工膜を定着させるときに使うヒールゼリーでレーザー痕も同時に治療してもいい。

小腫瘍は1つ1つ治療するより、いくつかまとめて焼却し、一気にヒールゼリーで治療するといい。

人工膜を乗せてもレーザー痕は薄っすら見えるので、切除痕とレーザー痕にヒールゼリーを塗ろう。

［手順］

❶ レーザー　小腫瘍を焼く
❷ ヒールゼリー　レーザー痕に塗る

膿

使用器具 　評価ポイント

腫瘍や虫垂摘出（34ページ参照）など、患部の治療中に出現する膿を吸引する処置。膿は一定時間で増殖するので視界が悪くなるうえ、炎症（29ページ参照）も発生させる。悪化するまえにドレーンでまとめて吸引しておこう。

膿が発生すると下の患部が見えにくい。また場合によっては、その患部の処置ができなくなる。

［手順］

❶ ドレーン　膿を吸引する

チップ

使用器具   　評価ポイント

ポンプユニットに付いた制御チップを回収し、設置する術式。ポンプユニットに付いたチップを回収するには、まずレーザーでチップを焼く必要がある。チップが焼けるとガイドラインが表示されるので、四隅にある点にメスを入れて回収できる状態にしよう。あとは回収できるチップをピンセットでつまんで回収トレイに乗せればチップの回収処置は終了。チップの設置が可能になると追加トレイに新しいチップが置かれる。そのチップを回収したチップがあった場所に置けばOK。ただし、設置場所に血溜まりが発生した場合は先に血溜まりを吸引しておかないと「Miss」になる。

4つのチップをすべて焼却しておき、まとめてガイドラインにメスを入れてチップを切り離そう。

エピソード「1-4」では、1つのチップを回収した時点で、新しいチップの設置も可能になる。

［手順］

❶ レーザー　チップを焼く
❷ メス　焼いたチップを切り離す
❸ ピンセット　切り離したチップをトレイへ運ぶ
❹ ピンセット　新しいチップをはめる